



新型 BMW iX3

目次

新型 BMW iX3

プレミアム e モビリティへの新たな推進力 2

エクステリア・デザイン

BMW i スタイルの効率的なスポーティネス 5

インテリアと装備

駆けぬける歓びと操作を更に最適化 7

駆動系

第 5 世代 BMW eDrive テクノロジーのパイオニア 9

BMW チャージング

自宅充電にも充電ステーションでも利用できる革新的なソリューション 11

コネクティビティとドライバー・アシスト・システム

快適性と安全性のための広範な機能 13

ここに示すモデル・バリエーション、装備の範囲、主要諸言、燃費および排出ガス値はすべてドイツの自動車市場で販売されている車両に関するものです。車両寸法のデータはドイツにおける基本装備車両のものであり、装着するホイールおよびタイヤの寸法やオプション装備によっては異なる場合があります。

燃費、CO₂ 排出量、電力消費量に関するデータは VO (EU) 2007/715 の有効なバージョンに規定の測定方法によって得られたものです。これらのデータはドイツにおける基本装備車両に対するものです。航続距離については、装着されるホイールおよびタイヤ寸法、オプション装備を考慮しています。

すべての数値は、新しい WLTP テスト・サイクルに基づいて算出されています。WLTP の数値は、CO₂ 排出量に基づく税金および他の車両に関する料金の評価基準として利用され、また必要に応じて車両固有の補助金に関する目的の基礎として使用されます。WLTP および NEDC の測定方法に関する詳細については、www.bmw.de/wltp を参照してください。

新車に関する公式の燃料消費率、CO₂ 排出量、電力消費率に関する更に詳細な情報は「新しい乗用車の燃料消費率・CO₂ 排出量・電力消費率に関するガイドライン」(Leitfaden über den Kraftstoffverbrauch, die CO₂-Emissionen und den Stromverbrauch neuer Personenkraftwagen)に記載されています。この資料はすべての販売店、DAT (Deutschen Automobil Treuhand GmbH) (所在地: Hellmuth-Hirth-Str. 1, 73760 Ostfildern-Schamhausen, Germany)、<https://www.dat.de/co2>から無料で入手できます。

新型 BMW iX3

プレミアム e モビリティへの新たな推進力



BMW グループは、純電動車の駆けぬける歓びに新たな重点を置くことになりました。BMW iX3(WLTP による複合モード消費電力 18.9~18.5kWh/100km、同 CO₂ 排出量 0g/km)は、積極的に電動化を進める現在の方針に則って行われた、細部にまで及ぶ見直しの結果です。これによって特に、出力 210kW/400Nm の純電動スポーツ・アクティビティ・ビークル(SAV)のスポーティな魅力が強調されています。新型 BMW iX3 では独自の M Sport パッケージが標準装備となりました。

またフロント部とリヤ部の形態が新しくなり、コンセプトとしても技術上も、プレミアム e モビリティを代表する BMW iX および BMW i4 との親近性を強調するデザインとなっています。これら 2 車種もオプションとして M Sport パッケージを装備することができ、更に BMW i4 は BMW M 車としても提供されます。新型 BMW iX3 のインテリアでは、新しい操作部と拡張された標準装備がプレミアム車の特徴を強調しています。

第 5 世代 BMW eDrive テクノロジーのパイオニア

BMW iX3 は BMW i ブランドの電気自動車の新世代のパイオニアです。現在では BMW iX および BMW i4 にも採用されている第 5 世代の BMW eDrive テクノロジーを初めて採用したのが iX3 の初代モデルでした。パワー・ユニットは高度に一体化されており、電気モーター、パワー・エレクトロニクス、トランスミッションが 1 つの共同ハウジングに収納されています。出力は 210kW/286ps に達し、従来と同様の形でリヤ・ホイールを通じて路面に伝達されます。

BMW iX3 の高電圧バッテリーも第 5 世代の BMW eDrive テクノロジーの産物です。80kWh の総エネルギー含量と、特に高効率の電気モーターによって、WLTP テスト・サイクルによる航続距離は最大 460km に達します。ユーザー調査および独立の職業的試乗員による比較運転の結果から、BMW iX3 がリチウム・イオン・バッテリーの高い蓄電能力によって、日常的な運転においても、また極めて低い外気温あるいは特にスポーティな走行条件などの悪条件下でも、競合製品に比べて極めて長い航続距離を実現していることが明らかです。

08/2021
Page 3

進歩した重電技術により、直流急速充電ステーションで最大 150kW の効率で充電することができます。これによって WLTP テスト・サイクルによる航続距離を 100km 延長するだけの電力を 10 分間で補給することができます。このことは BMW iX3 の長距離走行への適性を示すものです。

柔軟な車両構造、2021 年 9 月製造開始

新型 BMW iX3 は本格的なスポーツ・アクティビティ・ビークルです。車両全体の調和が優れているため、日常的な使用に制約がなく、走行特性はスポーティであると同時に余裕があり安全です。新型 BMW iX3 は内燃エンジン駆動 BMW X3 シリーズの堅牢かつ多用途の特徴を継承し、5 人を収容する大空間を持ち、510 リッターのトランク・ルームは最大 1,560 リッターまで拡張可能で、ローカルにゼロ・エミッションで駆けぬける歓びを、プレミアム・ミディアム・クラスのスポーツ・アクティビティ・ビークルという世界的に人気のある車種でも味わえるようになりました。BMW X3 は自由度の高い車両構造を持ち、高効率のガソリンおよびディーゼルエンジン、プラグインハイブリッドシステム、純電気駆動のいずれの形でも提供される最初のモデルとなっています。

新型 BMW iX3 の生産は合弁企業 BMW Brilliance Automotive の瀋陽の生産拠点で 2021 年 9 月に開始されます。ここでは純電動 SAV を現地市場向けおよび輸出向けに生産します。

持続可能性への全体論的アプローチ、車両のライフサイクル全体にわたる環境評価

新型 BMW iX3 は、細部にまで及ぶ改新によって、電気自動車界の新たな推進力となります。この車は第 5 世代の BMW eDrive テクノロジーの先駆者としての役割を果たすとともに、BMW iX および BMW i4 に並行するモデルの一つでもあります。特に、BMW i ブランドの特性に深く根差した持続可能性への全体論的アプローチに意味があります。このことに結びついた種々の目標は原料の調達からサプライチェーン、生産、使用の各段階を経て最後のリサイクルに至るまでの全ライフサイクルを包含し、持続可能性を環境面だけでなく社会的な目標として想定しています。

BMW iX3 の高電圧バッテリーに使用されている原料コバルトの比率は、先行世代のバッテリー(BMW i3 2019 年モデル)に比べて約 1/3 まで減少しています。BMW グループはコバルトとリチウムについて独自の調達ルートを確立しており、環境的・社会的標準を満たしていることを確認した入手先からの原料をバッテリーメーカーに供給しています。車両全体と同じく電池の製造においても、再生可能エネルギーからの電力のみを使用しています。モーター設計に関する BMW 独自の原則により、希土類に属する原料の使用を廃止することに成功しました。更に、アルミニウム鋳造部品や熱可塑性樹脂の製造において再生原料を多く使用していることも、CO₂低減および循環経済に関する BMW グループの目標達成に寄与しています。

BMW iX3 の開発段階で既に、純電動 SAV が従来型の同等車に比べて CO₂ 排出量の点で、全ライフサイクルを通じて優れていることが確認されました。すなわち、ディーゼル駆動の BMW X3 xDrive 20d に比べて、車両使用段階で欧州平均電力を使用したとき 30%以上、グリーン電力のみを使用したとき約 60% の優位性があることが、独立の試験機関によって確認されています。

エクステリア・デザイン BMW i スタイルの効率的なスポーティネス



新型 BMW iX3 は、力強いプロポーション、精密な線の流れ、クリアな面形成など、ブランドの特徴である新しいデザイン手法を採用しており、多用途性をブランド伝統のスポーティネスとプレミアム級の強靭な特性に組み合わせています。BMW i のブルーのアクセント、ほぼ閉じられた BMW キドニー・グリル、空力特性を最適化した軽金属ホイールが、純電気駆動であること、および一貫して持続可能性を目指す車両コンセプトを表現しています。

新型 BMW iX3 のエクステリア・デザインには、スポーティな駆けぬける歓びと模範的な高効率との個性的な結合が更に明確に現れています。変化した点としては、ヘッドライト、BMW キドニー・グリル、サイド・シル、フロントおよびリヤ・スカートの形状の変更があります。更に、モデル固有の M Sport パッケージが純電動 SAV の標準装備の一部となっています。

特徴的な外観と BMW iX、BMW i4 からの借用要素

BMW キドニー・グリルは特に上部の特徴がより強調され、従来よりも大きく、真珠光沢クロムメッキのフレームは一体化されており、内側には BMW i の特徴であったブルーのアクセントが付けられています。キドニー要素の内面はメッシュ状の構造で、BMW i のエンブレムが取り付けられています。

更に、ヘッドライトの新しい形状も新型 BMW iX3 の外観の表現力に寄与しており、従来に比べて約 10mm 低くなっています。こうしてフロント部は BMW iX および BMW i4 と明らかに類似したものとなり、BMW i の 3 つの最新モデルがコンセプトにおいても技術においても並行していることがデザインによって強調されることになります。新型 BMW iX3 の標準装備にはマトリックス機能を備えたアダプティブ LED ヘッドライト(バリアブル・ライト・ディストリビューション、コーナリング・ライト、幻惑防止ハイビーム・アシスタント「BMW セレクティブ・ビーム」を含む)が含まれます。オプションとして BMW レーザー光を持つアダプティブ LED ヘッドライトも提供されます。ダイナミック・レーザー光モジュールにより、車速 60km/h 以上でハイビームの到達距離が最大 650m 延長され、かつ進路に追随することができます。ディ・ランニング・ライトの L 字形ランプの青色インサートは特に高度なヘッドライト技術を象徴しています。

M Sport パッケージが標準装備の一部に

これに加えて、標準装備の一部となった M Sport パッケージのデザインの特徴も、新型 BMW iX3 のダイナミックなオーラを強化しています。これによってフロント・エプロンは彫りの深い三次元的形状となり、アスレチックな印象を与える面構成となっています。ドライブ・コンポーネントとブレーキを冷却するための、10 段階に調節可能なアクティブ・エアフラップ・コントロールを備えた下側エア・インテークも新たな形態が与えられました。最外側に配置されたエア・カーテンは L 字形に仕上げられ、青色のアクセントが付されています。

フロント・サイド・パネルに位置するエア・ブリーザーは M 専用デザインを維持するとともに、サイド・シルの青色アクセントは省略されました。新型 BMW iX3 のリヤ・エプロンは、力強く空力的に最適化された面構成を特徴としています。リヤ・ディフューザーの外側エレメントは BMW i の青色塗装を引き継いでいます。全面的に LED を採用したテール・ライトの輪郭は、黒色のフレームによって一層精密さを強調した造形となっています。夜間のデザインとしては、狭い幅に配置されたランプと、三次元的に造形されたピンセット状の輪郭内に繊細に組み込まれた水平のターン・インジケーターが特徴的です。

空力特性を最適化した軽金属ホイールで航続距離を延長

19 インチの空力的ホイールは新型 BMW iX3 の標準装備です。その設計により空気抵抗係数 (C_w 値) は 0.29(装備により異なる)まで低下し、純電動 SAV の航続距離の延長にも寄与します。またオプションとして、M 伝統のジェット・ブラック色とアルミニウム製インサートを特徴とする、新しい形態の 20 インチ空力ホイールも提供されます。

インテリアと装備

駆けぬける歓びと操作を更に最適化



BMW iX3 ではインテリア・デザインも、従来以上にスポーティな特性を強調するものとなっています。スポーツ・シートが標準装備品となりました。進歩したプレミアム級の雰囲気は、センター・コンソール上の最新型の操作パネル、およびダッシュボード中央の同じく新設計の操作部によって強調されます。標準装備の BMW ライブ・コックピット・プロフェッショナルのコントロール・ディスプレイは 12.3 インチに拡大されました。新しい BMW M ロゴ入りの照明付きエントランス・ストリップもこのモデルのスポーティネスを強調しています。

センター・コンソールに配置されたスタート/ストップ・ボタン、ギヤ・セレクター・スイッチ、およびステアリング・ホイールの BMW エンブレムの青色アクセントは BMW iX3 が純電気駆動であることを表現しています。モデル固有のその他の特徴としては、センター・コンソール上のモデル・バッジ、電気駆動用に改められたインストルメント・クラスターおよびコントロール・ディスプレイの表示、標準装備のアンビエント・ライト(既定では BMW i の青色照明)があります。

駆けぬける歓びへの集中のために: スポーツ・シートと新しい操作部

標準装備のスポーツ・シートは急カーブ走行時にも運転者と同乗者を確実に保持します。このシートは標準仕様で新しい内装仕様センサテックを用い、黒またはコニャック色コンビネーションのステッチを施しています。あるいは、青色コントラスト・シームを持つモカ、オイスターまたは黒のベルナスカ・レザーのシートを選ぶこともできます。アンスラサイト色のルーフ・ライナーも標準装備の M Sport パッケージの一部となっています。暗色アルミニウム・ロンビクルおよびオープンポア仕上げアッシュ材のインテリア・トリムは新しく加わったものです。更に 3 種のインテリア・トリムがオプションとして選択できます。

道路状況への集中を助けるため、新しい運転者指向のコックピット・デザインでは操作部が人間工学的に最適な配置をとっています。BMW iX3 のフルデジタル計器群は 12.3 インチのインストルメント・クラスターおよび同じ大きさに拡大されたコントロール・ディスプレイから成っています。スタート／ストップ・ボタンは新たな形状のセンター・コンソールに配置されています。モデル固有のギヤ・セレクター・スイッチ、BMW コントローラー、ドライビング パフォーマンス コントロール スイッチ ユニット、電気機械式パーキング・ブレーキも同じ場所にあります。

2つの魅力的な装備シリーズ

新型 BMW iX3 は 2 種の魅力的な装備シリーズを持つものが提供されます。基本バリエーションである Inspiring モデルにも、メタリック塗装、19 インチ空力タイヤ、アダプティブ・サスペンション、テールゲート自動操作、パノラマ・ガラス・ルーフ、電動調節シート、M レザー・ステアリング・ホイール、コンソール・パッケージ、3 ゾーン調節式のモデル固有のオートマチック・エア・コンディショナー、パークリング・ヒーターおよび停車時クライメート・コントロール機能が装備されています。同じく標準装備であるライブ・コックピット・プロフェッショナルには特に、BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタント、ワイヤレス充電式電話機、ソフトウェアのリモート更新、BMW Connected のデジタル充電サービスが含まれます。更に、コネクテッド・パッケージ・プロフェッショナルと組み合わせてクラウド・ベースのナビゲーションシステム BMW マップス、および Apple CarPlay や Android Auto を使用できるスマートフォン統合機能が提供されます。

オプションの装備パッケージ Impressive モデルには更に、20 インチ空力ホイール、防音ガラスを用いた運転席および助手席サイド・ウインドウ、コンフォート・アクセス・システム、ベルナスカ・レザー張り、BMW ジェスチャー・コントロール、BMW ヘッドアップ・ディスプレイ、および「ハーマン・カードン・サラウンド・サウンド・システム」などが含まれます。これに加えて BMW iX3 の Impressive モデルでは「BMW アイコニックサウンド・エレクトリック」機能も利用できます。BMW の電動モデルのために特に構想された駆動音の演出は、エモーショナルな面でドライビング・エクスペリエンスを一層豊かにするものです。この機能では、選択した走行モードに適した駆動音を発生します。

新型 BMW iX3 にはスタート/ストップの音響演出もあります。これは作曲家・キュレーターのハンス・ジマー氏と BMW グループのサウンド・クリエイティブ・ディレクターであるレンゾ・ヴィターレとの共同作業で開発されたものです。スタート/ストップ・ボタンを操作すると、運転者を電気自動車のドライビング・エクスペリエンスに導くような、短い音楽が鳴ります。

駆動系

第5世代 BMW eDrive テクノロジーのパ イオニア



ブランド伝統の出力特性を低騒音と模範的な効率で発揮する新型 BMW iX3 の駆動系が、ローカルなゼロ・エミッションでの運転の楽しみを強化します。この純電気駆動 SAV は最新の第 5 世代 BMW eDrive テクノロジーを用いた最初のモデルです。これには BMW グループが自主開発した電気モーター、パワー・エレクトロニクス、革新的な充電技術、各モデル固有の高電圧バッテリーが含まれます。

これにより BMW iX3 は BMW グループ内でも、電気駆動系の最先端技術を体現するものとなっています。第 5 世代の BMW eDrive テクノロジーは高度にスケーラブルであるため、種々の車両コンセプトに使用でき、当初の BMW iX および BMW i4 に続いて他のシリーズの電動化モデルにも採用される予定です。

高度に統合された駆動系、電磁石式電気モーター

BMW iX3 はデビュー当初から、電気モーター、パワー・エレクトロニクス、トランスミッションを 1 つのハウジングに集中的に収めたパワー・ユニットを採用しています。この高度に統合された電気動力系は各モデル固有のトレーリング・アームに取り付けられ、出力に対するコンポーネントの所要空間および重量を大きく低減することができます。このシステムは、従来の電動化モデル(2019 年型 BMW i3)に用いられていた BMW eDrive テクノロジーに比べて、出力密度が約 30% 改善されています。

新型 BMW iX3 の電気モーターは原理的には電磁石同期モーターで、現在上市されている他の方式とは本質的に異なります。この方式ではローターの励磁を、固定されている永久磁石ではなく、電流を供給することで行います。このためローターの製造において、磁性コンポーネントに必要とされる希土類元素に属する金属が全く不要になります。また最新の電気モーターでは効率が著しく向上しています。今日の内燃エンジンの効率が 40%未満であるのに対して、モーターの効率は最大 93% に達します。

08/2021
Page 10

駆動系の最大回転数は 17,000rpm です。広い回転数範囲にわたって最大出力 210kW/286ps を早期に得ることができます。更にトルクは起動時に既に 400Nm に達し、モーターの大きさに対して著しく高い最大値に到達します。ローターの励磁を適切に制御することで、トルクは起動直後から最大値を発生することができ、かつ高回転数に至るまで安定しています。電気モーターの駆動トルクは、同じハウジングに収められた 1 段トランスミッションを経てリヤ・ホイールへと最短距離で伝達されます。このとき、アクチュエーター近接ホイール・スリップ・リミテーション付きの革新的な走行安定性制御により、路面や天候の条件が悪くても余裕のある前進力が得られます。新型 BMW iX3 の加速度は停止状態から 100km/h まで 6.8 秒です。最大速度は電子的に 180km/h に制限されています。

大容量の高電圧バッテリー

新型 BMW iX3 の高電圧バッテリーは BMW の最新のセル技術に基づき、ニッケル含有量を高めています。リチウム・イオン・バッテリーは、個別に制御可能なプリズム状のセルから成り、セルは 10 個のモジュールにまとめられ、それぞれアルミニウム製ケースに収められています。バッテリーはボディの構造部品として車両床下に配置されています。新世代のバッテリーの総エネルギー含有量 80kWh のうち 74kWh が利用可能で、重量当たり容量において競争上の利点を確保しています。

高電圧バッテリーの高いエネルギー密度は、電気モーターの高効率、走行中のアダプティブ電力回生、軽量構造、ボディの低空気抵抗と共に、持続可能性の全体論的コンセプトを具現化しており、WLTP テスト・サイクルによる航続距離最大 460km に示されるように、日常用にも長距離走行にも好適です。競合他社の電気自動車では、主として高電圧バッテリーの大型化によって航続距離を延ばしており、したがって重量、ひいては車両の総合効率を低下させる結果となっていますが、BMW iX3 はこれらとは本質的に異なっています。

高電圧バッテリーのセルは、第 5 世代 BMW eDrive テクノロジーのすべての高電圧バッテリー・セルと同じく、BMW グループのサプライヤーにより、再生可能エネルギー（水力、風力、太陽光）の電力のみを用いて製造されています。

BMW チャージング

自宅充電にも充電ステーションでも利用できる 革新的なソリューション



「BMW チャージング」が全面的に提供されれば、新型 BMW iX3 のユーザーはテーラーメードの充電用製品、サービス、およびデジタルサービスを利用することができます。純電気駆動 SAV の欧州での納品範囲には、「BMW チャージング・カード」、公共の充電ステーションで使用する「Mode 3 の充電ケーブル」、「フレキシブル・ファースト・チャージャー」が含まれます。

フレキシブル・ファースト・チャージャーを用いると最大 11kW の効率で充電することができます。この充電器は長さ 6m の充電ケーブルで家庭のコンセント、または(別売のアダプターを介して)より高効率の産業用コンセントに接続します。家庭での充電用のオプションとして、最大 11kW の「BMW ウォールボックス」も提供されます。より強力なパートナーとの協働により、たとえば広範なネットワークに接続された「スマート・ウォールボックス」が利用できるようになり、社用車への自費充電の精算や、設置サービスとグリーン電力料金の適用などが可能になります。

最大 150kW の高速充電のための複合型充電ユニット(CCU)

新型 BMW iX3 に用いられている複合型充電ユニット(CCU)によって、異なった種類の充電ステーションへの接続について高い自由度が得られ、国際的な自動車市場すべてにおいて、車両への電気エネルギーの補給を迅速快適に行うことができます。交流コンセントを利用する場合、CCU によれば単相で最大 7.4kW、三相で最大 11kW の充電が可能です。直流の高速充電ステーションでは最大 150kW の充電効率が実現可能です。

ウォールボックスを用いた場合、新型 BMW iX3 の高電圧バッテリーは 0% から 100% まで 7.5 時間で充電できます。直流の高速充電ステーションでは、同じバッテリーを全容量の 10% から 80% まで 32 分以内に充電することができます。また更に、WLTP テスト・サイクルによる航続距離を 100km 延長するのに十分な電力を 10 分で補給することができます。

ハイ・パワー充電ステーション利用による料金割引

BMW チャージングによる公衆充電設備によれば、1 回の登録で欧州だけでも 500 社以上のインフラストラクチャー事業者が運営する 20 万ヶ所以上の公共の充電ステーションが利用可能になります。ドイツだけでも充電事業者は約 300 社、充電スポットの数は 33,000 以上に達しています。BMW チャージングのユーザーはこれらをカード 1 枚またはアプリで利用することができます。BMW グループも参加しているハイ・パワー充電ネットワーク IONITY も BMW チャージングネットワークと統合されています。

BMW チャージングによる充電は快適なだけでなく、統一的な料金体系によって経済的にも魅力あるものとなっています。ユーザーは自分の好みと走行または充電行動のプロファイルに従って、「フレックス」と「アクティブ」の 2 つの基本料金のどちらかを選択します。更に「IONITY(イオニティ)プラス」パッケージを利用することもできます。「アクティブ」料金では、充電コラムに表示されている価格とは無関係に、接続されている事業者のネットワーク内の交流(AC)および直流(DC)に対して kWh 当たりの固定料金が適用されます。ドイツのユーザーに対する価格は、AC 充電では 33 セント/kWh、DC 充電では 39 セント/kWh、IONITY では 35 セント/kWh です。すなわち、ドイツ国内の BMW iX3 ユーザーにとっては、公共の充電ステーションを利用したときのエネルギー費用は、同等のディーゼル車より約 25% 低くなります。BMW チャージングを「アクティブ」料金で利用すれば、欧州の 20 万ヶ所以上の充電スポットを通じて、完全なコスト管理が可能になります。

アプリ「My BMW」の新機能によるコネクテッド・チャージング

アプリ「My BMW」に新設された充電フィールドでは、充電履歴、充電方法、Scan & Charge、充電および空調設定の操作などの情報が一覧できます。また車両の充電が完了したときなどにプッシュ型で通知を受け取ることもできます。アプリでも車両内でも、カード上の青い円で現在の航続距離を簡単に見ることができます。BMW マップスとコネクテッド・チャージングを組み合わせれば、BMW iX3 による長距離走行を簡単かつ精密に計画することができます。このとき、選択した目的地が現在の電動航続距離より遠ければ、ルート計画の段階でバッテリー充電のための停車箇所が自動で追加されます。BMW マップスには走行中の経路沿い、あるいは目的地の付近にある公共の充電ステーションが表示されます。更に、一覧リストには利用できる充電ステーションが色分けで示されます。提供される充電効率などの詳細情報も見ることができます。

コネクティビティとドライバー・アシスト・システム 快適性と安全性のための広範な機能



コネクティビティ

車両内の新しいニュース・アプリ

ニュース・アプリの最近の変更により、BMW iX3 のユーザーへのニュース・オン・デマンドやインフォテインメントのポッドキャストの配信が改善されました。パーソナライズ化メッセージが導入され、カテゴリーを選択して関心のある主題に関するメッセージのみを受信することが可能になりました。個々の項目に「いいね」を追加することで、インテリジェントなアプリがユーザーの好みを一層正確に認識し、ニュース・フィードをより精密に選別できるようになります。パーソナライズしたメッセージとトップニュースは高音質で提供され、快適な聴取体験となります。内容は文章読み上げソフトによらず話者によって直接読み上げられ、国や言語によるフィルターが利用できます。ニュース・アプリにはその他の大手プロバイダーが統合されており、提供されるメッセージ量が著しく増加しています。

迅速、精密、有益：新しい BMW マップス

クラウド・ベースのナビゲーション・システム BMW マップスによって、パフォーマンスが大きく向上し、精度が高まるとともに目的地の入力も簡単になりました。この新世代ナビゲーション・システムでは、短い時間間隔で精密なリアルタイム交通データに基づいて、ルートの計算が極めて速く動的に行われます。計算にはルート全体の通常の交通量が考慮され、到着時間が予測的に計算されます。目的地の選択はフリーテキスト入力も、従来どおりのアドレス入力でも可能です。また音声入力による目的地指定も便利です。ルート沿いにある、いわゆる Points of Interest(POI、興味ある場所)についても詳細に説明され、評価、影響時間、写真などが示されます。

更に BMW マップスと Connected Parking とを併用すれば、目的地付近で空いている駐車場を探す助けになります。目的地を選択する時点で既に、予測される到着時刻での目的地付近の駐車場の状況が示されます。到着が近くになると、付近の立体駐車場の情報、目的地に近い駐車場が見つかる可能性の特に高いルートの候補などの情報が役立ちます。既存のサービス On-Street Parking Information および ParkNow もインテリジェントに BMW マップスの機能に統合されています。

スマートフォンと好みのサービスとの包括的な統合

BMW ライブ・コックピット・プロフェッショナルには最適化されたスマートフォン統合機能が含まれ、また特に Apple CarPlay®をサポートしています。これによってデジタル音声サービス Siri など多数のアプリ、各種地図アプリ、Apple Music などの音楽ストリーミング・サービス、メッセージ・サービス WhatsApp が利用できます。iPhone と車両とがワイヤレスで接続されるため、アプリは表示・操作システムに直接統合されます。これにより運転者は重要な情報をすべてをインフォメーション・ディスプレイ上、およびインテリジェントに加工された形でインストルメント・クラスターおよびオプションのヘッドアップ・ディスプレイで見ることができます。

BMW グループは Google Android Auto™により、顧客にとって有用な更に多くのサービスを車両とのシームレスなネットワーク化により提供しています。BMW の Android Auto により、走行中に音楽、メディア、メッセージ・アプリなどのスマートフォンの機能を簡単かつ確実に利用することができます。Google Assistantにより顧客はスマートフォンと対話でき、実行されたアクションは車両のインフォメーション・ディスプレイに表示されます。Android Auto と BMW の協働のハイライトは便利なワイヤレス・ネットワーク化、および Google Maps™ のナビゲーション指示の BMW ヘッドアップ・ディスプレイへのインテリジェントな統合です。

Amazon Alexa との高度な統合により、Amazon の音声サービスを家庭と同様に車内でも利用できます。これにより買い物リストの編集、メッセージの呼出し、音楽の再生などが一層容易になります。また車内からスマート・ホーム機器を操作することも可能です。アプリ「My BMW」を利用すれば、Amazon Alexa の車内へのセットアップが少ない手順で行えます。

BMW デジタル・キー

オプションの BMW デジタル・キーを利用すれば、近距離通信(NFC)により Apple iPhone を用いて BMW iX3 のドアロックの施錠・開錠ができます。したがって従来のオートロックは不要です。開錠するにはスマートフォンをドア・ハンドルの近くに保持する必要があります。車内では、スマートフォンをワイヤレス充電トレイに置けばモーターが始動します。デジタル・キーはアプリ「My BMW」を用いてセットアップすることができます。更に、車両のオーナーはアクセス権を最大 5 名のユーザーと共有することができ、その範囲内で運転初心者向けに最大速度、モーター出力、ラジオの最大音量などを制限する設定も可能です。

機能の拡張された BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタント

新型 BMW iX3 では、最新世代の BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントにより、運転者と車両が特に密接に関係づけられます。このデジタル同乗者は音声コマンド(「Hey BMW」など)やボタンを押すことでも起動でき、機能を恒久的に追加することができます。これにより特にエア・コンディショナーを自然な話し声での指示で操作できます。

BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントにはコントロール・ディスプレイ上の新しい図形記号が付随しており、対話型システムの特徴が強調されています。たとえば現在の発話者に向かって「耳を傾ける」図形によって、システムが音声入力に「注意を払っている」ことが視覚的に示されます。このシステムは話しかけているのが運転者であるか同乗者であるかを聞き分け、それに応じてたとえばエア・コンディショナーの片側のみを操作します。

進歩したドライバー・アシスト・システム

新型 BMW iX3 の進歩的な性格は、ドライバー・アシスト・システムの極めて広い機能範囲にも反映されています。BMW X3 の内燃エンジン駆動モデル・シリーズではモデル・エンジンの際に提供されていた、走行・駐車に関する多数の自動機能を、純電動 SAV は 2020 年 11 月の市場導入以来備えています。その意味でも BMW iX3 はこの分野の革新的技術のパイオニアとなっています。更に、利用できるほとんどのアシスト・システムが標準装備に含まれています。

ドライバー・アシスト・システムは、カメラ画像や超音波およびレーダー・センサーの収集したデータを処理することで車両の周辺環境を監視し、危険を検知すると警告を発し、ブレーキまたはステアリング操作によって事故の可能性を最小化します。またソフトウェアのリモート更新によって、既存の機能が改善されます。更に、Functions on Demand 機能により、機能を後日選択して利用申し込みをすることも可能です。

標準装備・ドライビング・アシスト・プロフェッショナル

正面衝突警告および追越禁止表示付きスピード・リミット・インフォと並んで、ドライビング・アシスト・プロフェッショナルも新型 BMW iX3 の標準装備に属しています。これは快適性と安全性のための一括パッケージで、アクティブ・ナビゲーション・ガイドなどのステアリング&レーン・コントロール・アシストを含んでいます。このシステムは複数の車線のある道路で、ナビゲーション・システムが選択したルートを維持するために運転者を支援します。

その他のハイライトとして、自動スピード・リミット・アシストとルート・ガイダンス機能があります。これによって、ストップ&ゴー機能を含むアクティブ・クルーズ・コントロールは車速の調節においても速度制限と車線を考慮します。アクティブ・クルーズ・コントロールは、装備モデル Impressive の一部である BMW ヘッドアップ・ディスプレイとの組み合わせにより、ドイツ国内では交通信号にも反応し、BMW iX3 は赤信号で自動的ブレーキが作動し停止します。

ドライビング・アシスト・プロフェッショナルの機能としてはこれ以外にも、車線変更および車線逸脱警告システム、アクティブ・サイド・コリジョン・プロテクション付きレーン・キープ・アシスト、緊急車両走行レーンの自動形成(欧州の一部の国で有効)、エマージェンシー・ストップ・アシスト、歩行者にも反応する衝突回避アシストがあります。同システムには更に、交差点警告、逆走警告、追突防止、前後の横方向交通警告の機能があります。

パーキング・アシスト:操車を支援する標準装備

駐車・操車に関しても BMW iX3 のユーザーは有効な支援を利用することができます。標準装備のパーキング・アシストは、フロントとリヤにセンサーを持つアクティブ・パーク・ディスタンス・コントロール(アクティブ PDC)、横方向パーキング・エイド、後退カメラ、後退アシストから成っています。このシステムはまた道路に平行または垂直な駐車場所を選択・利用するための支援も提供します。そのためにパーキング・アシストが加速、制動、ステアリングを代行します。道路に平行な駐車場所を出るときも自動的支援を利用することができます。

モデル Impressive の装備シリーズに含まれるパーキング・アシスト・プラスはその他にサラウンド・ビュー機能(トップ・ビュー、パノラマ・ビュー、3D ビューを含む)をも備えています。またリモート 3D ビューを利用すれば、車両とその周辺の三次元ライブ画像をスマートフォンに転送させることができます。

BMW ドライブ・レコーダーもオプションとして、あるいはデジタル購入による後付けで入手できます。この装置はドライバー・アシスト・システムのカメラを用いて車両周辺の動画を撮影・保存し、停止時に車内のコントロール・ディスプレイで再生、あるいは USB インターフェースを介してエクスポートすることができます。